

西小校区共生ステーション協議会議事録

議 事 概 要	
開催日時	平成 26 年 12 月 8 日 (月) 午後 7 時から午後 8 時 10 分まで
開催場所	西小校区共生ステーション 会議室
出席者氏名 (敬称略)	大藪長子、佐藤しのぶ、霜康代、中島和代、中嶋久善、深貝良弘、山本富士子、渡辺聖司 長久手市 たつせがある課 主任専門員 遠藤健一 西小校区共生ステーション嘱託員 加藤一夫

《議題》

1 利用状況について

11 月の施設利用者数は、2,287 人であった。未就学児とその母親の利用が増加している。

また、市民提案型プログラムの実施状況として、“健康体操”、“森のくまさん”、“ベビーマッサージ”、“手仕事カフェ”、“土鍋ネット in あいち”などの催しが好評である。

2 西小校区共生ステーション開設一周年記念イベントの準備状況について

事務局から準備状況を説明した。また、今後このようなイベントを継続して開催していくのかどうかその必要性を見極める上で、本協議会メンバーは積極的に参加するよう幹事から要請があった。

依然、西小校区共生ステーションの認知度は高いとは言えないため、来所のきっかけづくりに努めるべきである。

3 今日の西小校区共生ステーションの懸案事項について

住民が主体性を持ち、コミュニケーションを増やせるようなきっかけづくりをどのように作り上げていくのかということや、共助の思想を広げていくにあたり西小校区共生ステーション協議会で何ができるのかということを含め、今後協議する必要があると参加者全員で確認した。

4 市民提案プログラムの審議について

親子でふれあうわらべうた遊び (承認：コード L02.12)

※ 材料費 300 円を含めて承認した。承認条件として、コストと収益のバランスがふさわしくないと判断された場合は承認について再検討する。

5 その他自由意見

- (1) インフルエンザ予防のため、受付カウンターに手洗い消毒スプレーを設置するとよい。

- (2) 他市町に西小校区共生ステーションと同じような目的で設置されている施設があれば紹介して欲しい。
- (3) 西小校区共生ステーションの認知度を高めるためには自治会経由の広報紙のみに頼るのではなく、一周年記念イベントのような催しが必要である。

以上